



わたしたちがつくる

美ら島しま の明日

沖縄らしい

SDGs アクションガイド



目次

01	はじめに	P. 1
02	沖縄らしいSDGs	P. 2
03	<small>ゆうせん</small> 優先課題で見る沖縄	P. 4
04	いっしょに取り組む仲間の取組事例	P. 30
05	平和・文化に関する取組事例	P. 32
06	沖縄の未来について考えてみよう	P. 34
07	<small>じょうほう</small> 参考情報	P. 36

SDGsアクションガイドの活用方法

- 今の沖縄を知ろう！沖縄県がSDGsにどう取り組んでいるのか、データやグラフを使ってわかりやすくまとめています。今の沖縄がどうなっているか、調べてみましょう。
- そうごうてき たんきゅう
総合的な探究の時間やワークショップの教材に！「理想の沖縄」をえが描くためのヒントがまとまっています。付属のワークシートをみぞく活用して、沖縄がかか抱える課題に対し、自分ならどうアプローチするか、考えをまとめるために役立ててください。
- みんなで話し合おう！この本を使って「沖縄の未来」をどうしたいのか、みんなで意見を出し合ってみましょう。

おきなわの未来を 守るために。



Sustainable Development Goals=SDGs(エス・ディー・
ジーズ)は2015年9月にすべての^{かめいこく}国連加盟国が^{いっち}全会一致で^{さいたく}採択し
た、2030年までの「^{かのう}持続可能な^{こうせい}開発目標」です。17のゴールと
169個のターゲット、さらに^こ細かな^{こうせい}指標で構成されています。激し
さを増す^ま気候変動、^{かくさ}広がる^た格差、^{ふんそう}絶えない^{はげ}紛争など、「このままでは、
この美しい地球を次の世代に^つ引き継いでいけない」という強い^{きき}危機
感から生まれました。

わたしたちが住む沖縄県も、この^{かいけつ}問題を解決するために^つ全力を尽
くしています。未来をつくる主役は、あなたたち一人ひとりです。
SDGsはどこか遠い国の話ではありません。あなたが選ぶもの、あ
なたの^{さつし}言葉ひとつで、未来は^{そうぞう}変えられます。この冊子を読みながら、
ワクワクする未来をいっしょに^{そうぞう}想像してみましよう！



沖縄らしいSDGsの基本理念



平和を求めて時代を切り拓き、
世界と交流し、ともに支え合い、誰一人取り残さない、
持続可能な『美ら島』おきなわの実現



この基本理念は残すべき、あるいは残したい沖縄らしさと、
変えていくべき沖縄の双方を含有し、
継承と変革への沖縄の挑戦を示すものでもあります

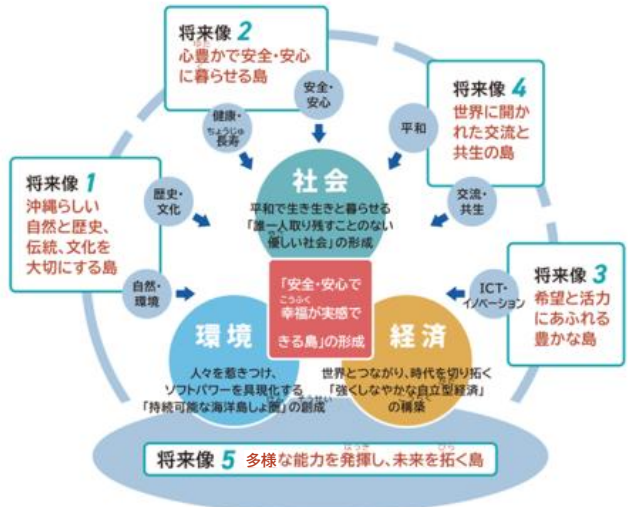
基本理念の視点

- 平和を求める …… 歴史的特性、住民を巻き込んだ熾烈な地上戦の経験^{きんけん}を踏まえた「平和」を希求する意思
- 時代を切り拓く …… 県民一人ひとりが次の時代を切り拓く主人公^{しゅじんこう}、意欲的に前進し^{いよくてき}気運に溢れる社会の創造
- 世界と交流する …… 県民一人ひとりが交流の主体、多様な交流を展開し魅力あふれる社会の創造
- 支え合う …… 沖縄の伝統に根ざす人と人のつながりを大切に^{たいせいに}する社会の創造
- 誰一人取り残さない …… SDGsの理念、17のゴールの達成に向けて基本となる視点
- 持続可能 …… 沖縄の魅力や優位性を活かし、経済、社会、環境が調和した経済発展を実現
- 美ら島 …… 豊かな自然を守り、次世代、さらに次世代に送りつなげる視点

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画におけるSDGsの位置づけ

沖縄県では、県民が望む将来（2030年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取組の方向性を明らかにした「沖縄21世紀ビジョン」を策定しています。

その実現に向けた「基本方向」や「基本施策」を示した新・沖縄21世紀ビジョン基本計画では、前計画の「社会」と「経済」の2つの軸に、「環境」を加えた3つの軸と「沖縄21世紀ビジョン」に掲げる5つの将来像とを連動させ、統合的な課題解決の視点とともに、将来像の実現に向けた各種施策を展開しています。



沖縄らしいSDGsの実現に向けた優先課題

沖縄らしいSDGsの基本理念の達成に向けた取組の柱として、
 沖縄の歴史的・地理的・自然的・社会的特殊事情を踏まえて、12の優先課題を設定しました。
 これらの優先課題は不可分であり、課題間の優劣なく、基本理念の達成のために
 すべてに統合的な形で取り組むこととしています。

People 人間

1. おたがいのちがいを認め合い、一人ひとりが大切にされ、
 みんなが活躍できる社会
2. こどもからお年寄りまで安心して元気に暮らせる地域へ
3. 「しまくとぅば」など地域への誇りと、夢をもって学べる
 教育の充実



Prosperity 繁栄

4. 自然や地域にやさしい観光と、観光と連携して地域を豊かに
 する産業振興、安心して働ける仕事づくり
5. 日本と世界をつなぐ、モノや情報が行き交う場所・沖縄
6. 地球温暖化などの気候変動に強い、安全な道路などの生活
 基盤と便利な交通ネットワーク



Planet 地球

7. 豊かな自然や多様な生き物を守り、自然となかよく暮らす、
 環境にやさしい島づくり



Peace 平和

8. 基地から起きる問題を解決し、沖縄から世界平和に貢献・発
 信する
9. みんなで助け合ってつくる、安全・安心な社会



Partnership パートナーシップ

10. 「ユイメール(助け合い)」の心を受け継ぎ、人と地域の「和」を
 深める
11. 地域・年れい・文化などをこえて、広くつながり協力し合う仲
 間の輪
12. 沖縄の知恵を生かし、世界の島々と協力し合うパートナ
 ーシップ



03 優先課題で見る沖縄

「優先課題で見る沖

優先課題がどんなことを表しているか、イラストを見てイメージしてみよう

優先課題の解決に向けた進み具合が分かるチェックポイントをのせているよ

「くらべてみよう！沖縄の『これまで』と『これから』の進み具合を、くわしく説明しているよ
むずかしい言葉は、青い文字にして、「SDGs用語集」で分かりやすく説明しているよ

03 優先課題で見る沖縄

優先課題 1

おたがいのちがいを認め合い、一人ひとりが大切にされ、みんなが活躍できる社会



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
性の多様性(いろいろな性の理解を広げる活動)を実施している市町村の割合	54.8% (2022)	76.2% (2023)	100% (2031)	↑
会社など働く場がないのある人の割合	2.86% (2021)	3.39% (2024)	4.32% (2031)	↑
沖縄で暮らす外国人の数	21,792人 (2021)	29,384人 (2024)	35,899人 (2031)	↑
雇員の課長相当職以上に占める女性の割合	16.4% (2021)	24.2% (2025)	30.0% (2030)	↑
仕事と生活のバランス(ワーク・ライフ・バランス)が良いと認められた会社の数	1000社 (2021)	1190社 (2024)	1900社 (2031)	↑

表から見てくる、沖縄の現在地

性の多様性への理解を深める

沖縄県は、みんなが「自分らしく」安心して暮らせる島を目指しています。2021年には、どんな性のあり方(LGBTQなど)も大切にするという宣言を出しました。なやみを相談できる場所を作ったり、差別をなくすためのルール(条例)を決めたりして、おたがいの個性を認め合う取組を進めています。一人ひとりのちがいを「いいね！」と認め合い、みんなが自分らしく生きられる、心豊かな沖縄をいっしょにつくっていきましょう。

みんなが安心して、自分らしく過ごせる沖縄へ

沖縄では、障がいのある人や外国から来た人も、安心して働き、生活できる町づくりが進んでいます。障がいのある人が働く場所は年々ふえており、多くの会社がみんなが働きやすい工夫を取り入れ始めています。また、県庁(県の仕事を進める場所)など、性別に関係なくみんなが活躍できる場も広がっています。言葉や文化、体の状態、そして考え、一人ひとりのちがいを大切に、みんなが安心して自分力を発揮できる「共に生きる社会」を、みんなで目指していきましょう。

「前の沖縄」とくらべた「今の沖縄」の変化率(どれくらいふえたか・へったか)を計算しているよ。

$$\text{変化率(\%)} = (\text{今の沖縄} - \text{前の沖縄}) \div (\text{前の沖縄}) \times 100$$

進み具合	計算結果	意味
↑	+5.0%以上	「前の沖縄」とくらべて、「今の沖縄」が良い方向に進んでいる
→	-5.0%より大きく +5.0%未満	「前の沖縄」と「今の沖縄」が、あまり変わらない
↓	-5.0%以下	「前の沖縄」とくらべて、「今の沖縄」が悪い方向に進んでいる

「沖縄」ページの見方

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 「LGBTQ」という言葉を聞いたことがある
約45%

2 障がい者の社会参加が拡大している
約21%

3 女性の社会活動参加、能力発揮ができていない
約33%

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

1 LGBTQについて調べてみよう

2 「何か手伝える？」と一言聞いてみよう

3 性別に関係なく家事・育児に取り組もう

あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

まわりとちがってもだいじょうぶ！
NPO法人 レインボーハートokinawa

わたしたちがつくる、差別のない沖縄
沖縄県 女性カテゴリーパートナー協議会

沖縄県は、一人ひとりが大切にされ、出身や性別など、自分の方で変えるのがむずかしいことを理由に差別されない社会を目指してルールを作りました。みんなが自分らしく安心して暮らせるよう、又層の大切さを学びましょう！

優先課題に関係のあるゴールをのせているよ

みんながSDGsを「自分のこと」として考えられるように、関係のある数字をのせているよ

優先課題の解決に向けて、一人ひとりができることを紹介しているよ

優先課題について、企業・団体や沖縄県ががんばっている取組を紹介しているよ

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

1

おたがいのちがいを認め合い、一人ひとりが大切にされ、みんなが活躍できる社会



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
性の多様性(いろいろな性)の理解を広げる活動をしている市町村の割合	54.8% (2022)	76.2% (2025)	100% (2031)	➔
会社などで働く障がいのある人の割合	2.86% (2021)	3.39% (2024)	4.12% (2031)	➔
沖縄で暮らす外国人の数	21,792人 (2021)	29,384人 (2024)	35,899人 (2031)	➔
県の課長相当職以上に占める女性の割合	16.4% (2021)	24.2% (2025)	30.0% (2030)	➔
仕事と生活のバランス(ワーク・ライフ・バランス)が良いと認められた会社の数	100団体 (2021)	119団体 (2024)	190団体 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

性の多様性への理解を深める

沖縄県は、みんなが「自分らしく」安心して暮らせる島を目指しています。2021年には、どんな性のあり方(LGBTQなど)も大切にするという宣言を出しました。なやみを相談できる場所を作ったり、差別をなくすためのルール(条例)を決めたりして、おたがいの個性を認め合う取組を進めています。

一人ひとりのちがいを「いいね！」と認め合い、みんなが自分らしく生きられる、心豊かな沖縄をいっしょにつくっていきましょう。

みんなが安心して、自分らしく過ごせる沖縄へ

沖縄では、障がいのある人や外国から来た人も、安心して働き、生活できる町づくりが進んでいます。障がいのある人が働く場所は年々ふえており、多くの会社が「みんなが働きやすい工夫」を取り入れ始めています。また、県庁(県の仕事を進める役所)など、性別に関係なくみんなが活躍できる場も広がっています。

言葉や文化、体の状態、そして考え方。一人ひとりのちがいを大切にし、みんなが安心して自分の力を発揮できる「共に生きる社会」を、みんなで目指していきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 「LGBTQ」という言葉
を聞いたことがある



約**45%**

2 障がい者の社会参加
が拡大している



約**21%**

3 女性の社会活動参加、
能力発揮ができています



約**33%**

出典 令和2年度 男女共同
参画社会づくりに関する
県民意識調査結果



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 LGBTQについて調べ
てみよう



2 「何か手伝える？」と
一言聞いてみよう



3 性別に関係なく家事・
育児に取り組もう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

まわりとちがっても
だいじょうぶ！

NPO法人
レインボーハートokinawa

くわしくは
こちら



おたがいのちがいを大切に、みんなが安心して生きられる社会を目指して、LGBTQや性の多様性の講演会をしています。まずは正しく「知る」ことから。「みんなちがってみんないい」社会をいっしょに作りましょう！

わたしたちがつくる、
差別のない沖縄

沖縄県 女性力・ダイバーシティ推進課

くわしくは
こちら



沖縄県は、一人ひとりが大切にされ、出身や性別など、自分の力で変えるのがむずかしいことを理由に差別されない社会を目指してルールを作りました。みんなが自分らしく安心して暮らせるよう、人権の大切さを学びましょう！

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

2

こどもからお年寄りまで安心して 元気に暮らせる地域へ



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
人口10万人あたりの医師の数	257.2人 (2020)	266.1人 (2022)	268人 (2031)	➡
健康寿命(男性)	72.11年 (2019)	71.62年 (2022)	前回調査より 延伸(2031)	➡
健康寿命(女性)	75.51年 (2019)	74.33年 (2022)	前回調査より 延伸(2031)	➡
相談をして仕事が決まったひとり親家庭の数	924件 (2021)	1,111件 (2024)	1,545件 (2031)	↗
生活に必要なお金が足りず、困っている家庭の割合	23.2% (2021)	21.4% (2025)	16.6% (2031)	↗

数が少ないほど
良いんだよ！

表から見てくる、沖縄の現在地

医療の体制づくり

沖縄では、みんなが安心して治療を受けられる仕組みづくりが進んでいます。医師の数はふえています。離島や住む場所によっては、まだ医師が足りないなどの課題もあります。どこに住んでいても、みんなが同じように「安心」して暮らせる社会をつかっていくことが大切です。

「健康・長寿おきなわ」の復活

沖縄では、「健康で長生きな島」を取りもどすために、バランスの良い食事や運動、病気の予防に取り組んでいます。しかし、働き盛り世代の死亡率が高くなっています。年をとっても元気に過ごせるよう、こどものうちから健康を大切にする習慣をみんなで広めていきましょう。

ひとり親家庭への支援・こどもの貧困解消

ひとり親の家庭や生活が大変な子どもたちが、安心して暮らせる仕組みづくりを進めています。最近、仕事の相談や、地域のみんなで食事や勉強ができる「居場所」もふえ、より多くの家庭をささえられるようになりました。これからも、すべての子どもが楽しく学び、夢に向かって成長できる環境をみんなでつくっていきましょう。



県民アンケートから見る沖縄の現状

1 健康診断、健康の相談が受けやすい



約**49%**

2 こどもの居場所設置や学習支援について、行政に力をいれてほしい



約**74%**

3 こどもの学校教育費のうち、制服の経済的負担が大きい(中2保護者)



約**72%**

出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果



令和6年度沖縄子ども調査(小中学生調査)結果



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 健康的な生活習慣を身に着けよう
健康診断を定期的に受けよう



2 地域の見守り活動(子ども食堂・無料塾など)に参加・応援しよう



3 使わなくなった学用品や学生服を寄付しよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

「すこしお生活」で、
あなたとまちを元気に

沖縄医療生活協同組合

くわしくは
こちら



「すこしお生活」「24時間蓄尿塩分子チェック」など、みんな楽しく健康づくりをしています！困った時の相談や、お金の心配をせずに受けられる診察もあり、みんなが安心できる町を目指しています。自分や地域を元気にする活動に参加しませんか？

ゆいまるあでつなく、
制服と笑顔の輪

学生服リユース・リサイクル
ゆいまるあ

くわしくは
こちら



思い出のつまった制服を次の笑顔へつなげませんか。「ゆいまるあ」では制服をきれいにし、安く売ったり、必要な家庭へ無料で届けたりしています。みなさんの寄付や協力が、地域の仲間をささえる力になります！

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

3

「しまくとぅば」など地域への誇りと、夢をもって学べる教育の充実



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
しまくとぅばで、あいさつやおしゃべりができる人の割合	28.6% (2021)	42.5% (2024)	60.0% (2031)	➔
学校で伝統芸能の公演を見て、理解した児童・生徒の割合	84.0% (2021)	87.6% (2024)	90.0% (2031)	➔
夢や目標を持ち、決めたことを最後までやる児童生徒の割合(小学校)	78.3% (2021)	80.8% (2025)	84.0% (2031)	➔
夢や目標を持ち、決めたことを最後までやる児童生徒の割合(中学校)	76.4% (2021)	72.9% (2025)	82.0% (2031)	➔
生涯学習(大人になっても学ぶ)講座を受けた人の数	44,685人 (2021)	95,972人 (2024)	182,000人 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

歴史と文化を学び、地元を誇る若者の活躍

2009年にユネスコ(国連教育科学文化機関)により、失われる可能性が非常に高い言語に指定された沖縄の「しまくとぅば」。使う人は少しずつふえています。もっと広めていく必要があります。また、学校で組踊などの伝統芸能にふれる機会もふえています。地域の歴史や文化を大切に、地元への愛着と誇りを持つ取組をこれからも進めていきましょう。

生きる力を育む環境づくり

新しい時代に合わせ、タブレットなどを使った授業や、自分でテーマを決めて調べる学習が進んでいます。これにより、将来の夢を持ち、目標に向かって進む人がふえています。お年寄りなど地域の方々が守ってきた沖縄をさらに良くするため、自分たちで考え、行動する力をこれからも大切に育てていきましょう。

学びと生きがいをささえる環境づくり

沖縄県では、いつでもどこでもだれでも学ぶことができる環境づくりを進めています。県や市町村が開く生涯学習講座の参加人数はふえており、多くの人が仕事や地域活動、趣味などを通じて学びとつながりを深めています。自分から進んで学び続けることで、自分の可能性を広げ、豊かで活力ある人生と、わたしたちが幸せに暮らせる社会をつくることができます。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 しまくとぅばに親しみ
を持っている



約 **77%**

2 社会に出る上で必要な
資質を身に付けられる
教育環境が整っている



約 **26%**

3 生涯学習する機会が得
られている



約 **27%**

出典 沖縄県しまくとぅば
県民意識調査報告書
(令和7年3月)



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果

くわしくは
こちら



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果

くわしくは
こちら



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 うちなーぐち検定を
受けてみよう



2 職業体験やインターン
に参加してみよう/
受け入れに協力しよう



3 みんなが知っているこ
とや得意なことで、身近
な人をハッピーにしよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

地域の宝を未来へ！
次世代がつくる感動の舞台

いっばんしやだんほうじん
一般社団法人島人Lab

くわしくは
こちら



沖縄のミュージカルとも言われている「現代版組踊」。地域の歴史を学び、障がいの有無に関わらず、みんなまで一つの舞台をつくります。それぞれの個性が光り、混ざり合う、全員が主役のステージ。ぜひ参加してね！

「まなびネットおきなわ」で
あなたの学びを発見

沖縄県生涯学習推進センター

くわしくは
こちら



学びたいと思った時がスタート！自分の生活に合わせて、いつでも、どこでも、だれでも勉強できる情報を届けます。「まなびネットおきなわ」で、新しい趣味や知識に出会う楽しさを。いっしょに学びの旅へ出かけましょう！

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

4

自然や地域にやさしい観光と、観光と連携して地域を豊かにする産業振興、安心して働ける仕事づくり



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
自然や文化を守る観光への取組を感じた観光客の割合	40.7% (2021)	40.0% (2024)	70.0% (2031)	➡
沖縄の農林水産業(農業・林業・漁業)の産出額	1,117億円 (内訳: 農業922億円 林業16億円 漁業179億円) (2021)	1,085億円 (内訳: 農業879億円 林業16億円 漁業190億円) (2024)	1,500億円 (内訳: 農業1,205億円 林業16億円 漁業279億円) (2031)	➡
働ける年い(15歳以上)の人のうち、働いている人の割合	60.0% (2021)	62.2% (2024)	61.5% (2031)	➡

表から見えてくる、沖縄の現在地

世界に誇る持続可能な観光産業の確立

沖縄では、自然を守りながら地域の宝を生かした観光を進めています。しかし、観光に来た人が「持続可能な観光を進めるための取組ができて」と感じる割合はまだ少なく、もっとがんばる必要があります。美しい自然や文化を守りながら、観光も盛り上げる「持続可能な観光」を広げ、世界に誇れる沖縄をつくっていきましょう。

観光と連動した産業活性化

観光を盛り上げながら、農業や漁業を元気にする取組が進んでいます。沖縄の食材は人気ですが、作ったり取ったりする人の数が減っています。未来の作り手を育てたり、沖縄県の農水産物を積極的に使うことで、農家さんや漁師さんをみんなで応援し、沖縄の豊かな恵みを守っていくことが大切です。

安定した雇用の実現

みんなが安心して働けるよう、仕事を探す人をささえる場を広げています。働いている人の割合はふえています。会社側も「働きやすい環境」を整えることが大切です。みんなが力を発揮できる職場をつくっていきましょう。



県民アンケートから見る沖縄の現状

1 持続可能な観光の推進
に関わるような活動
をしている



約 **53%**

2 すすめることができる
地域の特産品がある



約 **46%**

3 失業の不安がなく
働ける



約 **29%**

出典 令和6年度沖縄観光
に関する県民意識の
調査結果



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 植樹・緑化活動、ビーチ・
まちクリーンへ参加して
みよう



2 地産地消！
「県産品」を積極的に
選ぶ



3 なりたい職業に向けて
資格を取ってみよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

観光が社会貢献に。
沖縄のビーチを守る旅

かぶしきがいしゃ
沖縄ツアリスト株式会社
いっしょんしゃだんほうしん
一般社団法人しまぬわ

くわしくは
こちら



旅をするほど、沖縄がきれいに！島をめぐり、地元の人といっしょに海をそうじする「ビーチクリーンツーリズム」に出かけませんか？遊ぶことが自然を守ることにつながる新しい旅。あなたも参加しましょう！

沖縄の食材を食べて、
未来につなげよう

沖縄県 流通・加工推進課

くわしくは
こちら



元地の食材を食べる「地産地消」は、食材を運ぶ時のCO₂をへらす立派なSDGs。「くわっちーおきなわ」で県産食材を学んで食べてみよう！みんなの「おいしい」が、沖縄の持続可能な農業につながるよ。

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

5

日本と世界をつなぐ、モノや情報が行き交う場所・沖縄



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
那覇空港で取り扱う貨物量 <small>なは あつか</small>	17.0万吨 (2021)	18.0万吨 (2024)	33.0万吨 (2031)	➡
那覇港で取り扱う外国の貨物量	129万吨 (2021)	122万吨 (2024)	238万吨 (2031)	➡
IT(情報通信)産業で働く人1人あたりの売上額 <small>うりあげがく</small>	1,093万円 (2021)	1,235万円 (2024)	1,345万円 (2031)	➡

表から見えてくる、沖縄の現在地

国際物流と公正な貿易を進める

沖縄はアジアの中心にある便利な場所です。那覇空港で取り扱われる貨物はふえています。那覇港で取り扱われる外国の貨物は減っています。飛行機と船を上手に組み合わせ、新しい貿易の道を作り、世界とつながる元気な沖縄をみんなで目指しましょう。

ICTで産業DXを進める

沖縄では、デジタル技術を使って新しい仕事やサービスを生み出す「産業DX(デジタルトランスフォーメーション)」に取り組んでいます。コンピュータを上手に使うことで、今までより短い時間で良いものを作れるようになり、働く人の売上もふえています。これからもICT(デジタル)の得意な人を増やし、会社同士で助け合いながら、沖縄をもっと豊かにする「稼げる仕事」をみんなで広げていきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 「商業・貿易」に注力すべき



約 **61** %

2 物価が安定している



約 **13** %

3 沖縄の優位性を生かした新事業・新産業が生まれ出されている



約 **25** %

出典 第12回県民意識調査
(ぐらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査
(ぐらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査
(ぐらしについてのアンケート)結果



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

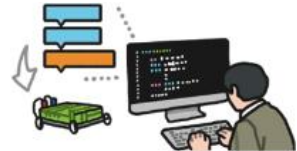
1 日本で唯一の国際物流特区について調べてみよう



2 沖縄の港から輸出しているモノについて調べてみよう



3 プログラミングなどのデジタルスキルを身に着けよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

アジアの中心・沖縄。
経済の最前線を学ぼう

沖縄県 企業立地推進課



アジアの中心にある沖縄は、飛行機や船の通り道として、新しい工場やITの会社がどんどんふえています。ポータルサイトで沖縄の経済について学び、未来を動かすお仕事の世界をのぞいてみませんか？

沖縄最大級のIT・DXイベント。
ResorTech(リゾテック)へ！

ResorTech EXPO in Okinawa
実行委員会



沖縄最大級のIT・DXイベント「ResorTech EXPO(リゾテックエキスポ)」は、年に1回のビッグイベント。ビジネスやわたしたちの生活を便利にする国内外の最新デジタル技術を、ぜひ会場で体験してみてください！

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

6

地球温暖化などの気候変動に強い、安全な道路などの生活基盤と便利な交通ネットワーク



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
避難所など防災拠点となる建物が地震に強くなっている割合	94.3% (2021)	95.7% (2024)	98.6% (2031)	→
県民1人が出す二酸化炭素の量	8.0t-CO ₂ /人 (2019)	7.3t-CO ₂ /人 (2022)	4.8t-CO ₂ /人 (2031)	→ 数が少ないほど良いんだよ！
太陽光や風力などのエネルギーで作られた電気の割合	11.1% (2021)	12.5% (2023)	19.0% (2031)	→
バス・モノレールなどの公共交通の利用者数	2,996万人 (2021)	4,306万人 (2022)	6,900万人 (2031)	→
県の役所で使う電気自動車などの数	59台 (2021)	213台 (2025)	600台 (2030)	→

表から見えてくる、沖縄の現在地

災害に強い地域づくり

沖縄では、台風や地震などの災害が起きてもみんなの命と暮らしを守るよう、避難所になる学校などの公共施設を丈夫にする工事など、地域づくりを進めています。これからは、地域での防災訓練や備えをさらに充実させ、どんな困難にも負けない「強くなやかな地域」を、みんなでつくっていきましょう。

クリーンエネルギーでつくる、災害に強い沖縄

二酸化炭素をへらし、自然エネルギーを使う対策が進んでいます。沖縄では、2050年までに「エネルギーの脱炭素化」を実現することが目標です。自然を守り、災害にも強いエネルギー社会をみんなでつくりましょう。

環境と人にやさしい、持続可能な地域へ

沖縄では、環境にやさしく便利な地域づくりを進めています。バスやモノレールの利用者がふえ、電気自動車(EV)などの導入も進んでいます。移動しやすく環境にもやさしい、「脱炭素社会」を目指しましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 防災対策が
充実している



約 **39%**

2 クリーンエネルギー
が普及している



約 **25%**

3 目的地まで
円滑に移動できる



約 **31%**

出典 第12回県民意識調査
(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査
(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査
(くらしについてのアンケート)結果



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 各家庭でローリングストックに取り組みよう



2 節電・節水・節ガスなど、「もったいない」をへらす暮らし方を意識しよう



3 バスやモノレールなど、公共交通を積極的に使おう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

もしもの備えに。
スマホに防災のお守りを

三井住友海上火災保険株式会社

くわしくは
こちら



もしもの時に役立つ「スマ防災害時ナビ」。カメラを向けるだけで避難所の場所が分かったり、安全な地図が見られます。7か国語に対応していて、みんなが使えます。お守りとしてダウンロードしませんか？

エコドライブが
沖縄の未来を変える！

沖縄トヨタ自動車株式会社

くわしくは
こちら



沖縄トヨタ自動車のエコドライブ活動は、CO₂をへらす自然を守り、やさしい運転で事故を無くすための取組です。みんなが安心して暮らせる未来を目指しています。

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

7

豊かな自然や多様な生き物を守り、
自然となかよく暮らす、環境にやさしい島づくり



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
沖縄の自然をこわす外来種がいなくなった地域の数	0地域 (2021)	2地域見込み (2025)	4地域 (2031)	➡
工事現場や畑から海に流れ出した赤土の量	14.1万トン (2021)	—	8.0万トン (2031)	—
家庭などから出たゴミのリサイクル率	15.8% (2021)	14.9% (2023)	22.0% (2031)	➡
事業所などから出たゴミのリサイクル率	45.2% (2021)	47.5% (2023)	51.0% (2031)	➡
食品ロス量	61,450t (2021)	53,966t (2022)	51,004t (2031)	➡

数が少ないほど
良いんだよ！

数が少ないほど
良いんだよ！

表から見えてくる、沖縄の現在地

豊かな自然と生き物を守る

沖縄の自然は大切な財産です。サンゴや海の生き物に悪影響を与える赤土の流出を防ぐ対策や、もともと沖縄にいなかった外来種から生き物を守る調査が進んでいます。一人ひとりが自然を思いやり、外来種を持ちこまないなどの行動を続けましょう。

ムダをへらし、資源を大切にできる社会へ

食品ロスはへっています。一方で、家庭から出るごみのリサイクル率が低いという課題があります。ごみをへらすため、マイバッグの使用やごみの分別など、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を意識した身近な行動を積み重ね、持続可能な社会をみんなでつくりましょう。